



であい・ふれあい・ささえあい
困ったときはおたがいさま

平成24年3月発行
発行元NPO法人ユーアンドアイ
発行責任者 佐藤真智子

ハローユーアンドアイ 55号

家族みんなそろって“家族”、
家族の絆って大事なの。

震災から1年・・・



あたりまえの生活に感謝の
かんがえがしあわせにたのしみすおりに。

私たちにできること
“忘れぬ”!!

がんばろう日本!
何事もおぼしにせず一日一日を
大切に過ごすこと。そして
何より、一人で生きてゆけ
ないことを通感しました。

目に見えるものより
目に見えないものを
大切に：私の大好き
な言葉です。

私事なんですけど...
この春は、おと見きて子たちの旅立ち、
家族の旅立ち、私の旅立ちも...と。
あわてばばば淋しい予感がします。
改めて今、気がおぼして家族、友達、私の
周りの全員の絆を、しっかりとけしめたい。
この絆を大切に、前へと進んでいきたいな... 大層

いろいろな考えを持った人が
同じ方向にむかっていなければ
ならないとき、こんなにも莫大の
のかと痛感しました

絆

震災の日、私は、帰宅難民になり避難所に
お世話になりました。その人々に助けられ、
どんなに心強かったか... 忘れかけていた人の
つながり、絆を感じました。被災地の一日も早い復興
願わねば、いらいやせし

絆とは人と人をつなぐ糸が半方
しかないこと、手を取り合って歩む
姿が絆です。私も微力ながら
協力していきます。 K.S
今、自分がいるのは沢山の
偶然で生かされているのだと
思い知った一年でした

家族が揃わぬ不安な
夜も過ぎたあの日。
いつも通りの大切さを
実感しました。

何か大切なものか、何か幸せなものか、
何で生かされているのか、何を求
めているのか、日々自分に問いかけ
る一年でした。1人の命は、小エリ
かも知れぬけれど、1つの命
の救われているものは、とても多く
大層、大層と思えます。 M.I.
自分は何をすべきか 考えて

平凡な日常に感謝。
このひと言にたのしみ。

住む家、寝る場所
食べるものがあるのは、
幸せだなあ... I

きた1年でした。自分にできる
ことは何だろう? 毎日自問しました。
そして時が流れていきました。そして
今日も生きていることに感謝して
日常しています。

絆が、おぼして
絆に感謝した年
でした。
日々何事とせ
と絆を大切に

命の尊さを痛感して
一日も大切に過ごして
いきたい...

今年ほど命について考えた年
ありませんでした。色々な絆を大切に
したいと思います

一歩あるけな時は
歩むでいいんだよ
絆

私たちは...

歳をとっても 障がいがあっても 住み慣れた地域の中で その人らしく、
心豊かに暮らしていける そんな新しい“ふれあい社会”を目指しています。

平成24年度からの

介護保険の見直しとこれから



走りながら考えようと始まった介護保険制度はこれまでも度々見直しがされてきました。本格的超高齢化・少子化・利用状況・ふくらむ財政負担など、介護保険だけで高齢者の生活を支えることが厳しくなっているからです。

厚生労働省は住み慣れた地域・自宅で最期までその人らしく暮らすことが出来るよう“地域包括ケアシステム”の2025年までの実現を目指しています。

そこに描かれているのは、日常生活圏域で各々のニーズに合わせた充実した介護サービス・医療との連携・市町村独自の生活支援サービス・住まい・予防の取組みと元気高齢者の生きがいや社会参画促進などが包括的・継続的に行なわれているというものです。地域の実情に合わせた形での13年後の実現を期待したいものです。

制度外サービスである自治体独自の日常生活支援事業については、市の今後の取り組みが待たれます。

東日本大震災から1年、改めて地域の絆が見直されているとき、地域のコミュニティセンターを中心に、ご近所の小さな力をつむいで地域力として暮らしやすい地域をつくる、これは私たち住民の力が問われることとなります。

新寄付制度とNPO法の改正①

—NPOを取り巻く環境が大きく変わりました

認定NPO制度は2001年に成立したものの普及はしませんでした。そこで制度改正に取り組み、この度実現したのが新寄付税制と改正NPO法です。3年間の仮認定制度が設けられたこともあり、今、関心をよせる団体が増えています。ユアアンドアイも検討したいと思います。以下は改正の要点です。

《 新寄付税制 》 施行:平成23年7月1日

- ・認定NPO法人への寄付に対し所得税から最大50%の税額控除が受けられる
- ・認定NPO法人の認定要件が緩和され、各事業年度中に3千円以上の寄付者100人以上が基準に
- ・相続人が認定法人に寄付をした場合、寄付をした相続財産が非課税になる

《 NPO法の改正 》 施行:平成24年4月1日

- ・活動分野が新たに3分野追加
- ・NPO法人会計基準が導入され、「収支計算書」を「活動報告書」に改める(猶予期間あり)
- ・従来の認定NPO法人制度を、そのままNPO法へ
- ・認定NPO法人の認定は国税庁から都道府県へ
- ・3年間の仮認定制度の導入

～続く～

市民活動フェア

3月25日(日)、26日(月)サプラにおいて市民活動センター主催による“りゅうがさき市民活動フェア”が開催されました。

“光のモール”でパネル展による各活動団体の紹介、2階多目的ホールでは市民活動体験が行なわれ賑わいました。38団体の参加者とともに、沢山の市民の方が龍ヶ崎市の市民活動を知り、体験し、繋がる機会になりました。



…会員さんから…

りれーとーく

…会員さんへ…

<思い出のアルバム>

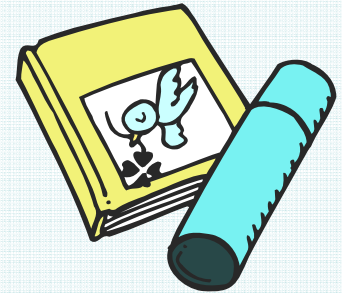
菅崎 京子さん

今年もまた、桜の季節がめぐってきた。私が障がい児の就学支援を始めてもうじき8年、通い慣れた小学校を巣立っていく子供たちとの思い出で、この時期いつも胸いっぱいである。

運動会や校外学習など特別な行事の中にも、給食や休み時間など何気ない日常生活の中にも、心温まる思い出がたくさん詰まっている。もちろん順調なことばかりではない。時に子供とぶつかり、親御さんや先生方と悩んだことも全て、思い出という名の大切な宝物である。

こう振り返ると、子供たちに素敵な思い出を…と支援してきたつもりが、なんと私の方こそが、子供たちから、たくさんたくさん思い出のアルバムを増やしてもらっていたのだ。そのことに気づいた今、これまで一緒に過ごしてきた多くの子供たちに、改めて感謝の気持ちでいっぱいである。

“笑ったり泣いたり、みんなのおかげで楽しく幸せな時間が過ごせたよ！たくさんの思い出を、ホントにホントにありがとう！！”



これから先も、子供たちの将来を応援しつつ、新たなページが増え続けていくことだろう。

— 会員さんから会員さんへつながりレター 次回は 中西 フミ子 さんです —

リニューアルあれこれ

<さよならデミオ>

2001年2月にユーアンドアイにきて11年間活動を共にしたデミオが走行距離122,460Km！走破して廃車となりました。経験が豊富でなかった当初は少し自信なげだったけど、今ではいろんな状況を経験し、困難を乗り越え介助も上手になったね、とほめてもらえそうです。



長い間ありがとう。



<看板が新しくなりました>

姫宮の事務所に引越して以来の看板がこわれてしまい、牛久の長尾さんに新たに作っていただきました。字は“ニコちゃんマーク”生みの親、長山在住の丸山さんです。おかげ様で素敵な看板が出来ました。お二人ともありがとうございました。ユーアンドアイはいろんな方にささえられています。



<ぱれっとの工事も終了>

2月22日（水）～26日（日）にかけてぱれっとの床工事がありました。姫宮に移転し約5年、徐々にでてきたきしみ（・・・）具合も、今回の工事ですっかりよくなりました。工事期間中は色々とお不便をおかけいたしました。ご協力ありがとうございました。



総会のお知らせ



第14回通常総会が開催されます
 日時：平成24年5月26日（土） 10：00開始
 場所：西コミュニティーセンター（予定）

総会は、法人の最高議決機関であり、ユーアンドアイの進むべき方向を話し合う場でもあります。毎年理事・監事・正会員が参加し協議をしています。

《活動状況》

	たすけあい活動の活動時間						介護ステーションの活動時間		
	家事	介助・介護	子育て	おでかけ	その他	合計	介護保険	いきいき	合計
12月	43.0	63.5	33.5	387.5	11.5	539.0	304.5	15.0	319.5
1月	38.0	27.5	12.0	423.0	9.0	509.5	303.5	9.0	312.5
	ぱれっとの利用人数			受託事業の活動時間		会員数			
	児童デイ	放課後 預かり	合計	障がい児就学支援		正会員	一般会員	賛助会員	合計
12月	144	20	164	1,225.50		32	318	6	356
1月	152	15	167	1,167.25		32	311	6	349

編集後記

中3の娘。養護学校と言えども県立高校、同じ日程で試験、合否発表がありました。落ちることはないよ〜と先輩お母さんから言われていたものの、普通のお子さんのように、他に選択肢がそうそうあるわけでもなく、不安はそれなりにあったので合格がわかってホッとしました。

翌日は卒業式&祝う会。先生方も保護者もこの日のためにそれぞれに準備。スライドを見たり、ゲームをしたり、食べて飲んで歌って踊って。ちょっとした風邪でも、体調を崩し半年1年と入院することも多い同級生たち。命の尊さ、はかなさを意識する生活のため、ことさらこのような節目が嬉しく思えるのでしょうか。

学生生活は後3年。年齢よりはるかに幼く、弱い彼らですが、社会に出るのは早い...

寂然としなない部分もありますが、この3年を1日1日大切に過ごしてほしいと願っています。

(M×2)



NPO法人ユーアンドアイ

〒301-0017

茨城県龍ヶ崎市姫宮町104番地

電話（平日9:30~17:00） 0297-62-2667

FAX: 0297-62-2698

ホームページ <http://www.npo-ibaraki.or.jp>

ご意見・お問い合わせメールアドレス

yu-and-ai@npo-ibaraki.or.jp